

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2011.2.10 No.12

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺2-2-11

TEL 090-9973-0941

ホームページ

<http://www.jcp-yamada.jp/>



杉並区内の認証保育園を見学

区内にある認証保育園をくすやま美紀区議会議員・小倉順子区議会議員と訪問・見学しました。

この認証保育園の事業主体は、都内に数十箇所の園を展開（フランチャイズ型・直営型の両方）している営利企業です。

狭いスペースに子どもがいっぱい…

この園では、（0歳〜1歳）8人、（2歳）11人、（3歳〜5歳）15人が簡単な仕切りで区切った3フロアに分かれて生活しています。それぞれのフロアはかなり狭く、園庭も無いため、子どもたちが伸び伸びと遊べるスペースが充分にはありません。雨の日は散歩に行くことも出来ないため、苦勞するそうです。

保育士の事務スペースも狭いため、床で事務作業をしている保育士が複数いました。



くすやま区議の質問でも取り上げられる予定です。

認証保育園とは？

認証保育制度は、保育の「規制緩和」の中で、東京都が独自に職員数や面積で国の最低基準に満たない施設にお墨付きを与え、発足させたものです。営利企業の参入が進む一方、「保育料が高い」「園庭がなく保育スペースも狭い」「職員がすぐ替わる」など、保育の質の低下をまねく問題が噴出しています。

それでも、応募は殺到 空き待ち状態が続いています

子どもたちの育つ環境としては、決して良い環境とは言えない認証保育園ですが、保育待機児童が増え続ける中、応募は殺到しています。特に、杉並区の場合は、今年に入ってから保護者の施設見学が増え続け、対応しきれない状態になっているそうです。

認可保育所に入園希望しても入れない子どもたちが1300人近くになる状況が背景にあります。

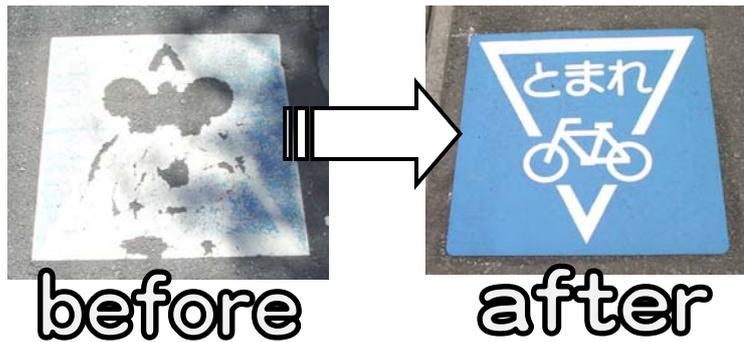
認可保育所の増やしてこそ 保育制度の充実は

営利企業の参入任せにする保育制度は、保育の質の低下を招くことにもなりかねません。認証保育所等の「保育の質の確保」は緊急の課題であると共に、認可保育所の増設が欠かせません。

お隣の世田谷区では、2年間（09年・10年度）で認可保育所を24園増やす計画が進んでいます。少子高齢化の社会で、実効ある少子化対策は、認可保育所をしっかりと増やし、若い世代が安心して子どもを作りたいと願える社会を実現することです。

今こそ、杉並区でも認可保育所を増やし、保育待機児をゼロにする努力を開始する時です。

区への要請後、改善が始まっています②



本天沼地域（日大二高周辺）の交差点

自転車への注意喚起表示が補修されました。



要請後、さつそく「注意喚起対策」が始まっています。自転車接触事故が起きやすいポイントで、「注意喚起」の表示が設置（補修も含めて）されています。

「注意喚起対策」始まる

区民アンケートに寄せられた地域要求の中に、「自転車の接触事故が増えている」「自転車への注意喚起をしてほしい」との意見が多くありました。先日行われた「道路交通安全対策」のための杉並区への要請行動でも、区内の多くの場所で、自転車への注意喚起対策が必要になっている事が明らかになりました。

地域要求など、何でもご相談ください
連絡先 03-3314-5551
FAX 03-3318-1492

今週の一こま

同級生が宣伝のお手伝い 青年の政治への関心が高まっています

最近、小学校・中学校の同級生が宣伝のお手伝いをしてくれたり、見学に来たりする機会が増えました。本当にありがたいことです。

日本社会が深刻な状況に落ち込み、青年の雇用をめぐる問題も深刻になっています。私の友人の多くも、非正規雇用で正社員になれずに苦勞をしています。

そうした中、毎朝の宣伝や路地裏での宣伝に対して、若い世代からの注目が高まっていることを感じています。「新聞奨学生で将来に不安を抱える学生」「アルバイトでぎりぎりの生活をしながら食い繋いでいる青年」など、対話になる青年も増えています。

私の友人も含めて、青年の模索が強まっています。若い世代が政治に参加することが、日本社会の閉そく状況を打ち破る大きな力になることは間違いありません。青年が希望をもって生きられる社会を作るためにも全力で頑張ります！



毎朝の宣伝、路地裏宣伝でも演説に力が入ります。